

# 中部ニュース

シネスコ版

道新 11月13日 大洋東京前に一函館・小樽 - 122km (本編)トヲヘ追加)  
甲子新 11月29日 カウスケテ文字四回 - 広島 - 180km (本編)ヤン・アレ爵  
高知新 11月24日 本編同上  
新潟新 11月8日

No. 423 37.2.23

一月中旬から一つ滴の雨も降らない東京は異常乾燥といわれる程の空々天気の連続。そんなカラカラの空氣のせいで、風邪と火事が新記録をつくる流行ぶり。

予防対策の手抜かりもあつて、一千万都民の六割がインフルエンザにおかれ、各方面にいろんな支障を与えました。又、出火は戦後タイ記録の一月六十八件の日も出る有様。悪質な放火が目立ち、都民は異常乾燥お天気にとんだとばかりを受けています。

カメラルポ

一、キンヤンプ

別府

プロ野球セ・パ両リーグは四月七日の開幕を前に各地で最後の仕上げに入っています。

別府に陣取る中日は、森・井上を放出してチームを一新、濃人体制を着々と固めています。そして常に勝つことを要求される勝負の世界では、キャンプは月月火水木金の休みなし、激しい昼間のトレーニングが終れば夜は合宿で各部門に分れて机の勉強会、更に生存競争の激しさはおちおち寝ている暇すら与えてくれない様です。こうして来るべきペナント・レースに備えて休日返上のキャンプ風景です。

アイモ風土記

一、雪国とまつり

—秋田

一年の半分近くを雪空の下でくらす東北には、自分達の生活をうたいあげる数々のおまつりがあります。横手の「ほんてんまつり」、六郷の「竹うち」、大曲の「綱引き」など、米どころ秋田県下のおまつりは農民の豊作祈願をこめた行事ですが、まつりに見られる荒事は、土地にしばりつけられ、与えられた運命に反抗する手段もなかつた農民の激げしい不満の現れでもあるようです。

現在、東北の農民は米作による安定した生活の中に埋没し、殊に四ヶ月も降りつづける雪は農民を狭い風土へかこつてしまっています。東北の雪の中でくりひろげられるおまつりはそうした人々のエネルギーの唯一の解放の場となっています。雪国のはなやかなおまつりのかげには、こうした東北固有の性格が物語られているのです。

338km

187km

117km

689km

製作配給 東京中日新聞 中部日本ニュース映画社